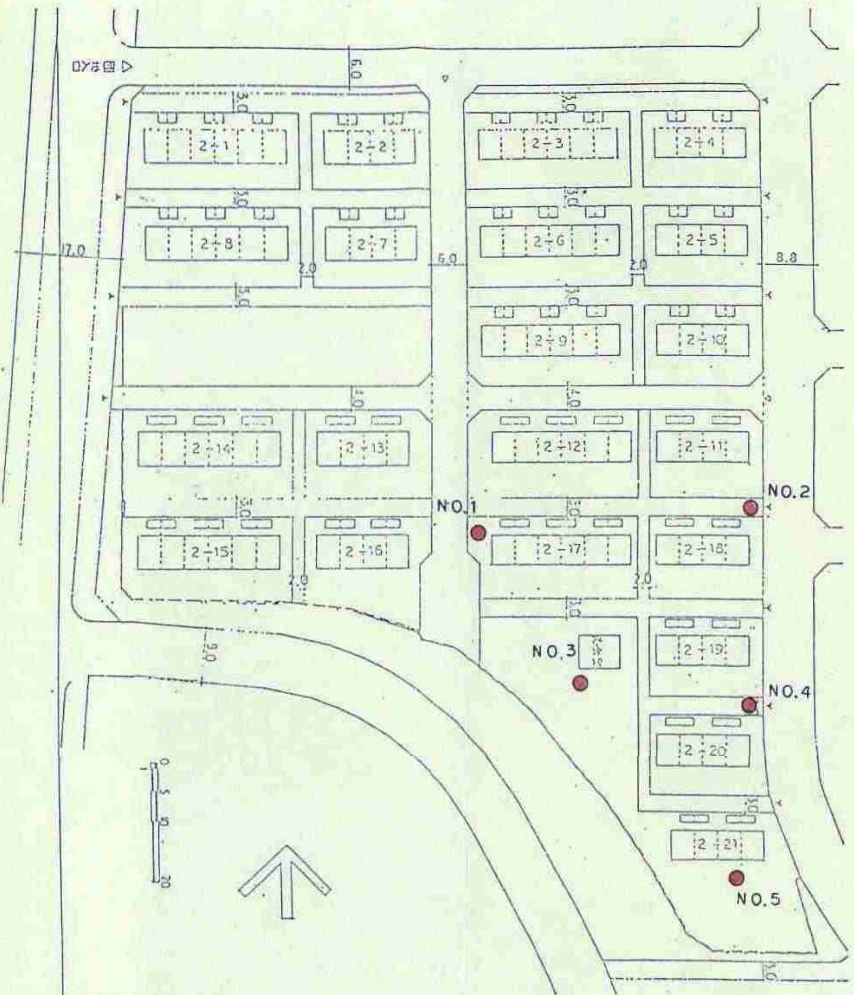
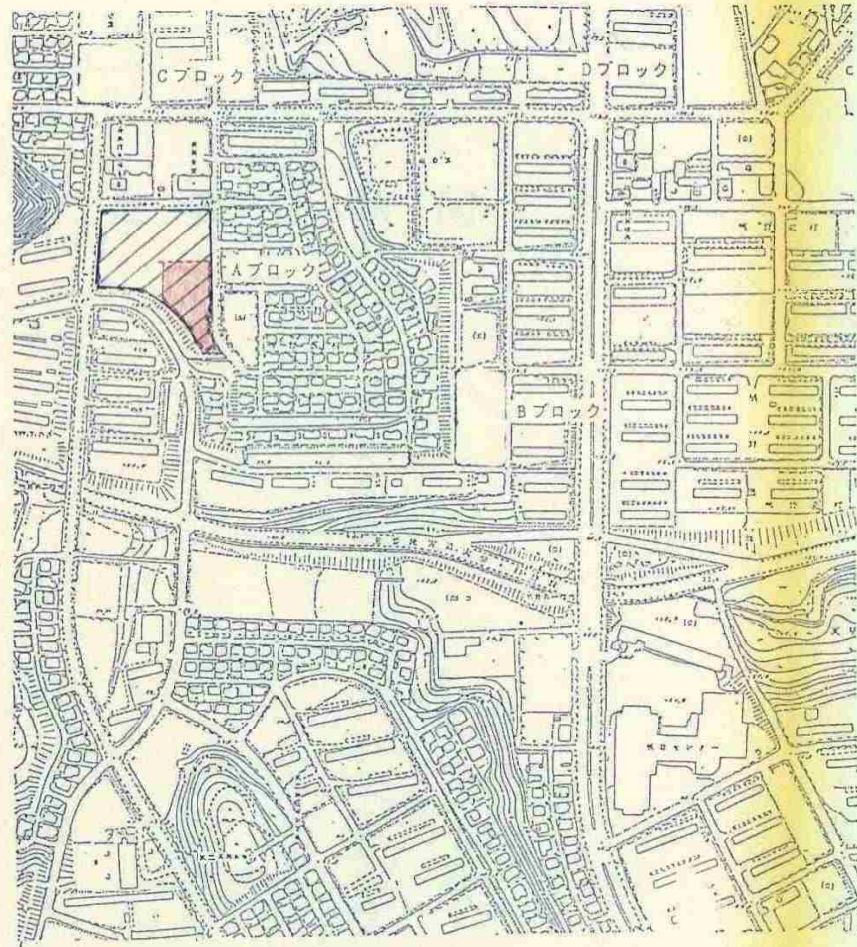


### 調査位置図





土質柱状図 報告用紙

調査名 平成5年度 県営明野住宅Aブロック新築工事地質調査委託  
調査地点 大分市明野西町

調査年月日 5年 5月 5日  
標高 9.66 m

ボーリング孔: No. 1 機種 吉田 YSO-1型 孔内水位(自然, 泥) m 調査責任者 松永 達雄

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			貫入試験			採取試料・原位直試験 方法 (注1) 方(注2)			
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃 回数 10cm 毎		10cmごとの 打撃回数	74μm通過質量百分率(%) N値	
0													
1	0.96	0.70	0.70	砂質粘土	暗褐色	暗褐色	小礫を混入 粘土が強い	1.65 1.45	25 10	5	11	9	
2		2.00	2.00	礫混り砂	褐色	褐色	径5~30mmの礫混入 粗中砂に粗砂混る 粘土分を多く含む 下肌礫分が少くはる	2.15 2.45	29 30	9	10	9	
3	6.06	2.00	2.00	粘土混り砂	暗褐色	暗褐色	径5~80mmの礫を主体 所及径90~110mmの 礫混る	3.15 3.30	59 23	22	22	15	
4				粘土混り砂	暗褐色	暗褐色	礫は安山岩, 玄武岩, 石英 礫で堅硬である	4.15 4.30	59 20	22	20	20	
5				粘土混り砂	暗褐色	暗褐色	マトリックスは中粗砂で 粘土分を多く含む	5.15 5.30	59 19	15	35	19	
6				礫	暗褐色	暗褐色	マトリックスは中粗砂で 粘土分を多く含む	6.15 6.70	59 16				
7	2.66	7.00	4.20	礫	暗褐色	暗褐色	堅度は「締, T15」	7.05	59	5			

備考  
注1) 試料採取方法の記号  
T: シンクウォールサンプリング F: フォイルサンプリング  
P: 標準貫入試験用サンプリング O: オウガー  
D: デリソニン型サンプリング  
注2) 原位直試験方法の記号

土質柱状図 報告用紙

調査名 平成5年度 県営明野住宅Aブロック新築工事地質調査委託  
調査地点 大分市明野西町

調査年月日 5年 5月 5日  
標高 9.54 m

ボーリング孔: No. 2 機種 吉田 YSO-1型 孔内水位(自然, 泥) m 調査責任者 松永 達雄

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			貫入試験			採取試料・原位直試験 方法 (注1) 方(注2)				
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃 回数 10cm 毎		10cmごとの 打撃回数	74μm通過質量百分率(%) N値		
0														
1	0.94	0.60	0.60	砂質粘土	暗褐色	暗褐色	砂分を多く含む 小礫混入 径5~40mmの礫混入 粗中砂に粗砂混る 粘土分を多く含む 堅度は「中」	1.15 1.45	19 20	0	4	7		
2	7.34	2.20	1.60	礫混り砂	暗褐色	暗褐色	径5~80mmの礫を主体 所及径90~120mmの 礫混る	2.15 2.44	59 29	11	10	21		
3				粘土混り砂	暗褐色	暗褐色	礫は安山岩, 玄武岩, 石英 礫で堅硬である	3.15 3.30	59 25	24	25			
4				粘土混り砂	暗褐色	暗褐色	マトリックスは中粗砂で 粘土分を多く含む	4.15 4.40	59 25	19	20	11	5	
5				礫	暗褐色	暗褐色	マトリックスは中粗砂で 粘土分を多く含む	5.15 5.30	59 17	22	28	17		
6	2.54	6.00	2.80	礫	暗褐色	暗褐色		6.15 6.70	59 17					

備考  
注1) 試料採取方法の記号  
T: シンクウォールサンプリング F: フォイルサンプリング  
P: 標準貫入試験用サンプリング O: オウガー  
D: デリソニン型サンプリング  
注2) 原位直試験方法の記号

土質柱状図 報告用紙

調査名 平成5年度 県営明野住宅Aブロック新築工事地質調査委託

調査地点 大分市明野西町

調査年月日 5年 5月 日

標高 9.44 m

ボーリング孔: No. 3

調査責任者

標尺 m	標高 m	層厚 m	観察記録		土質名	色調	記事	標準貫入試験			採取試料・原位試験 方法 注1) 注2)
			土質記号	土質記号				深さ m	10cmこの打撃回数	74mm通過質量百分率 (%)	
0	0.04	0.60	砂質粘土	暗褐色	小礫を多く含む 粘土を多く含む	1.15	9/30	2	3	4	
1	0.64	2.60	硬質り砂	黄褐色	硬質は堅硬 マトリックスは中程砂 で粘土分を多く含む	2.15	15/30	5	5	6	
2	6.04	2.60	粘土	暗褐色	硬質は堅硬 マトリックスは中程砂 で粘土分を多く含む	3.15	47/30	12	13	20	
3			粘土	暗褐色	硬質は堅硬 マトリックスは中程砂 で粘土分を多く含む	4.15	50/29	14	17	19	
4			粘土	暗褐色	硬質は堅硬 マトリックスは中程砂 で粘土分を多く含む	5.15	50/26	16	20	14	
5			粘土	暗褐色	硬質は「締まっている」	6.05	59/6				
6			粘土	暗褐色		6.73					
7			粘土	暗褐色		7.00					
8	1.44	0.00	粘土	暗褐色		8.00	59/7				

備考 注1) 試料採取方法の記号 T: シンクウォールサンプラー F: フェイルサンプラー P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー D: デニソン型サンプラー

(社)土質工学会 [不詳] 1102

調査名 平成5年度 県営明野住宅Aブロック新築工事地質調査委託

調査地点 大分市明野西町

調査年月日 5年 5月 日

標高 9.56 m

ボーリング孔: No. 4

調査責任者

標尺 m	標高 m	層厚 m	観察記録		土質名	色調	記事	標準貫入試験			採取試料・原位試験 方法 注1) 注2)
			土質記号	土質記号				深さ m	10cmこの打撃回数	74mm通過質量百分率 (%)	
0	0.96	0.60	砂質粘土	暗褐色	砂質を多く含む 小礫を多く含む	1.45	25/30	5	9	11	
1	0.60	2.10	硬質り砂	黄褐色	硬質は堅硬 マトリックスは中程砂 で粘土分を多く含む	2.45	31/30	8	13	10	
2	6.06	2.70	粘土	暗褐色	硬質は堅硬 マトリックスは中程砂 で粘土分を多く含む	3.45	50/21	16	26	21	
3			粘土	暗褐色	硬質は「締まっている」	4.45	50/15	20	23	16	
4			粘土	暗褐色		5.45	50/20	10	22	15	
5			粘土	暗褐色		6.00	50/15	34	15	15	
6			粘土	暗褐色		6.73	50/16	27	16	16	
7	2.56	7.00	粘土	暗褐色		7.00					

備考 注1) 試料採取方法の記号 T: シンクウォールサンプラー F: フェイルサンプラー P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー D: デニソン型サンプラー

(社)土質工学会 [不詳] 1102



調査名 平成5年度 東営明野住宅Aブロック新築工事地質調査委託

調査地点 大分市明野西町

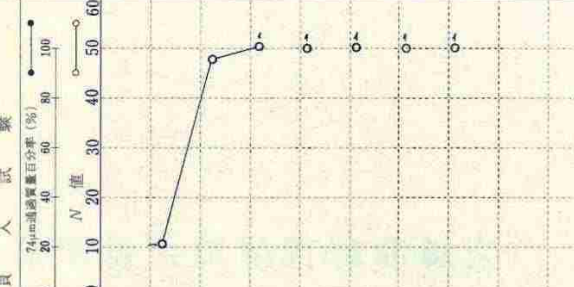
調査年月日 5年 5月 5日

標高 9.58 m  
 孔内水位(自然, 泥) m

ボーリング孔: No. / 5 機種 吉田 YSO-1型

調査責任者

標尺 m	層 厚 m	深さ m	高さ m	観察記録		貫入試験	採取試料・原位重試験 試料番号	注1) 方法			
				土質名	色調						
0											
1	0.70	0.70	0.70	砂質粘土	暗褐色	10cmごとの打撃回数 10 cm 2 20 cm 4 30 cm 5	1.15 1.45 2.15 2.45	11/30	2 4 5		
2				凝り砂	黄褐色		2.15 2.45	49/30	26 13 9		
3	2.10	2.10	2.10	粘土	褐色		3.15 3.20	59/33	32 19 9		
4				土	黄褐色		4.15 4.35	59/20	26 24		
5				凝り砂	黄褐色		5.15 5.35	59/20	23 27		
6				砂	黄褐色		6.05 6.75	59/6			
7	4.20	7.00	4.20	凝り砂	黄褐色		7.10	59/6			



注1) 試料採取方法の記号  
 T: シンクウォールサンプリング  
 P: 標準貫入試験用サンプリング  
 D: デニオン型サンプリング

注2) 原位重試験方法の記号  
 F: フォイルサンプリング  
 O: オーガー



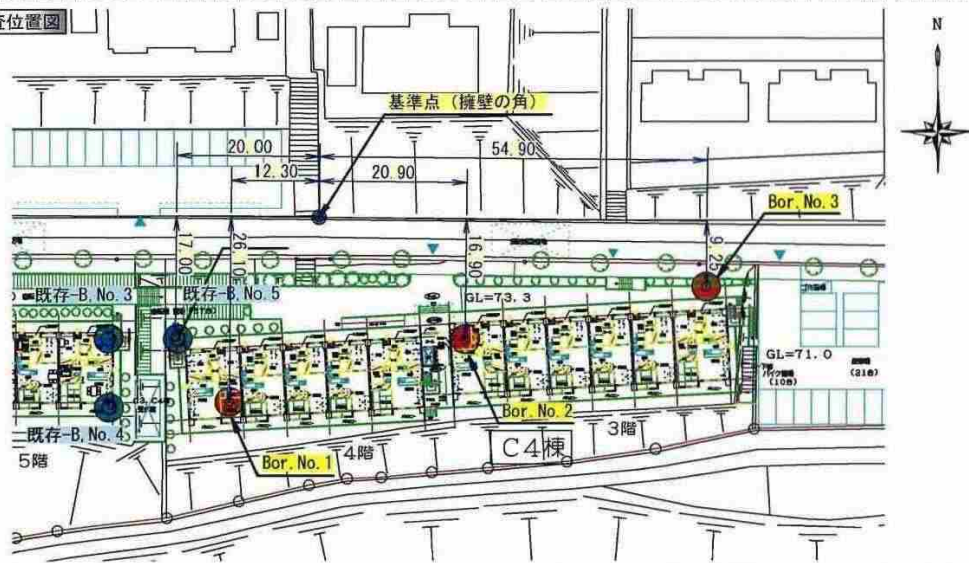
1.2 調査結果の概要

調査結果の概要

調査の事前には、調査職員と現地立会打合せを実施して、調査地点・内容・目的等も確認の上で現地調査を行った。  
調査期間中においては、ボーリング調査状況を随時連絡の上で、調査完了深度を協議の上で決定し、調査の適正に最大限努めた。  
また、ボーリング調査位置の基準点は、下図及び右写真に示す



調査位置図

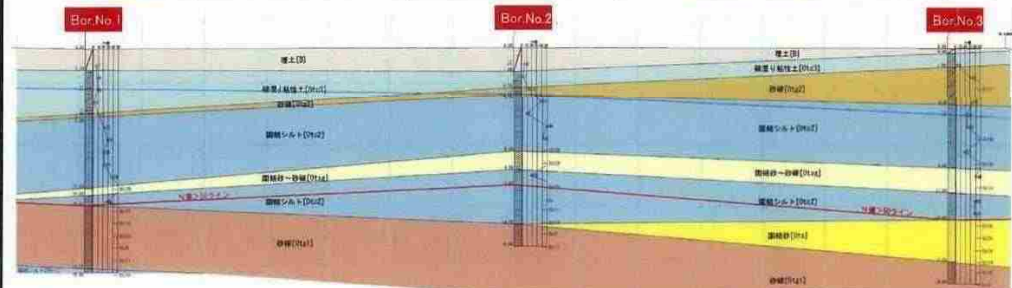
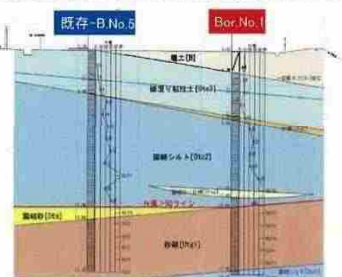


調査結果諸元と地質想定断面図

- 支持地盤はN値 $\geq 50$ を連続的に示すOtc2&1, Ots Otg1が適当。
- 基礎形式は杭基礎等の間接基礎の検討が必要。

表-1.2.1 各地点の調査結果の諸元

孔番	地盤高(m)	掘進長(m)	N値 $\geq 50$ の深度(m)	地下水位(安定水位)
Bor.No.1	47.73	18.00	12.60	5.10
Bor.No.2	47.80	16.00	13.00	3.70
Bor.No.3	47.71	19.00	13.80	5.30
既存-B No.5	47.98	18.00	12.80	2.45



地質構成と区分目安

表-1.2.2 今回調査の地層区分凡例

地質時代	地質区分		N値	記 事
	地質名	記号		
更新世	埋土	B	6	地点により構成が若干異なる不均質な埋土。全体的には硬質砂質粘土が主体(max $\phi$ 50mm程度)。マサ土や耕作土も含まれる。
	黒ボク・赤ボク	Av	(3~5)	火山灰質の粘土土。上部は有難質な黒ボク、下部は $\phi$ 5mm以下の含む赤ボク。今回調査では明確な区分ができず、一部は埋土に包括。
新生代第四紀	砂礫	Otg3	(21~24)	礫は $\phi$ 2~30mm程度の歪角や角礫主体。礫間はシルト質砂が充填する。今回の調査では未確認。
	硬質粘土 ~粘土	Otc3	2~9	固結シルトの風化進行部で、軟らかい~中位の相対稠度。均質な粘性土状のもの主体で、部分的に砂薄層の挟在や礫混入(max $\phi$ 30mm)の多い深度ある。含水多く、粘性が高い。
	砂礫	Otg2	11~33	隣接3号棟では未確認。3-1号棟と今回調査時は確認される。Otc2とOtg3の間にレンズ状に分布する。礫は $\phi$ 20mm程度まで主体で、一部は $\phi$ 35mm程度まで含む。
	砂~砂礫	Ots	40~58	Otc2中に挟在される硬質砂~砂礫。礫は $\phi$ 2~30mm程度まで主体。砂は地点・深度により異なり、固結する箇所もある。
	固結シルト	Otc2	8~83	固結度の高いシルト。コアは短柱状~棒状主体の固結土が採取される。部分的に砂礫の薄層を挟在。下部は固結度が高くなる。
	固結砂	Ots	58~60	固結した状態の砂。構成粒子は地点・深度により異なり、細~粗粒のものあり。
	固結シルト	Otc1	83	隣接3号棟では未確認。3-1号棟と今回調査時は確認される。Otg1中に挟在される固結シルト。淡黄灰色~青灰色を呈す固結シルトで、固結度は高い。
	砂礫	Otg1	58~188	礫は $\phi$ 2~50mm程度の歪角や角礫主体。部分的には $\phi$ 100mm大のもの混入する。礫間はシルト質砂が充填し、密である(弱固結)。砂薄層の挟在部あり。

※1. 地質区分は「住委第1602-23号 明野住宅地質調査委託 H16.7 日本地研株式会社」を踏襲。  
 ※2. Av, Otg3は今回の調査範囲では未確認。N値及び記事は既存調査による。  
 ※3. 上記N値は硬打撃による過大値や希少な過大値は除外。

液状化検討について

今回は、① $F_L$ 値法による液状化検討、②地形的観点からの液状化検討、③粒度分布からの液状化検討をそれぞれ実施した結果、いずれの検討からも液状化の可能性は低いと判定された。  
 ①の検討結果は、以下のとおりで、いずれも $F_L$ 値 $\geq 1$ である。  
 ③の結果は、右図のとおりである。  
 ★設定マグニチュードはM=7.5、地表面加速度は200gal, 350galとした(特記仕様書によった)。

粒度分布からの液状化検討

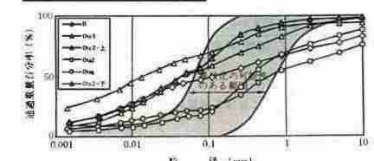


表-1.2.3 液状化検討結果総括表

地質時代	地質区分		土質区分	代表N値	細粒含有率		安全率 $F_L$		液状化発生の危険度
	地質名	記号			Fc (%)	200gal	350gal		
更新世	埋土	B	粘性土	6	47.4	-	-	-	低い
	硬質粘土 ~粘土	Otc3	粘性土	6	67.7	-	-	-	低い
新生代第四紀	砂礫	Otg2	砂質土 ~礫質土	22	22.8	2.48~4.91	1.06~2.91	-	低い
	砂~砂礫	Ots	砂質土	51	17.5	3.51~5.09	2.11~2.25	-	低い
	固結シルト 上側	Otc2 上側	固結土 (粘性系)	32	54.7~57.2	-	-	-	低い
	固結砂	Ots	固結土 (砂質系)	60	-	-	-	-	低い
	固結シルト	Otc1	固結土 (粘性系)	83	-	-	-	-	低い
	砂礫	Otg1	礫質土	117	-	-	-	-	低い

②の地形的観点からは、調査地は更新世の滝尾層によって構成される洪積台地であり、続成作用の進行した固結土が卓越することから、液状化の可能性は低いと判断される。  
 また、このほかに、既存資料(内閣府・大分市ホームページ)においても、液状化危険度がかなり低い地域に該当している。  
 ①②③の結果や既存資料の収集結果を総合して、調査敷地の液状化の可能性は低いと考えられる。

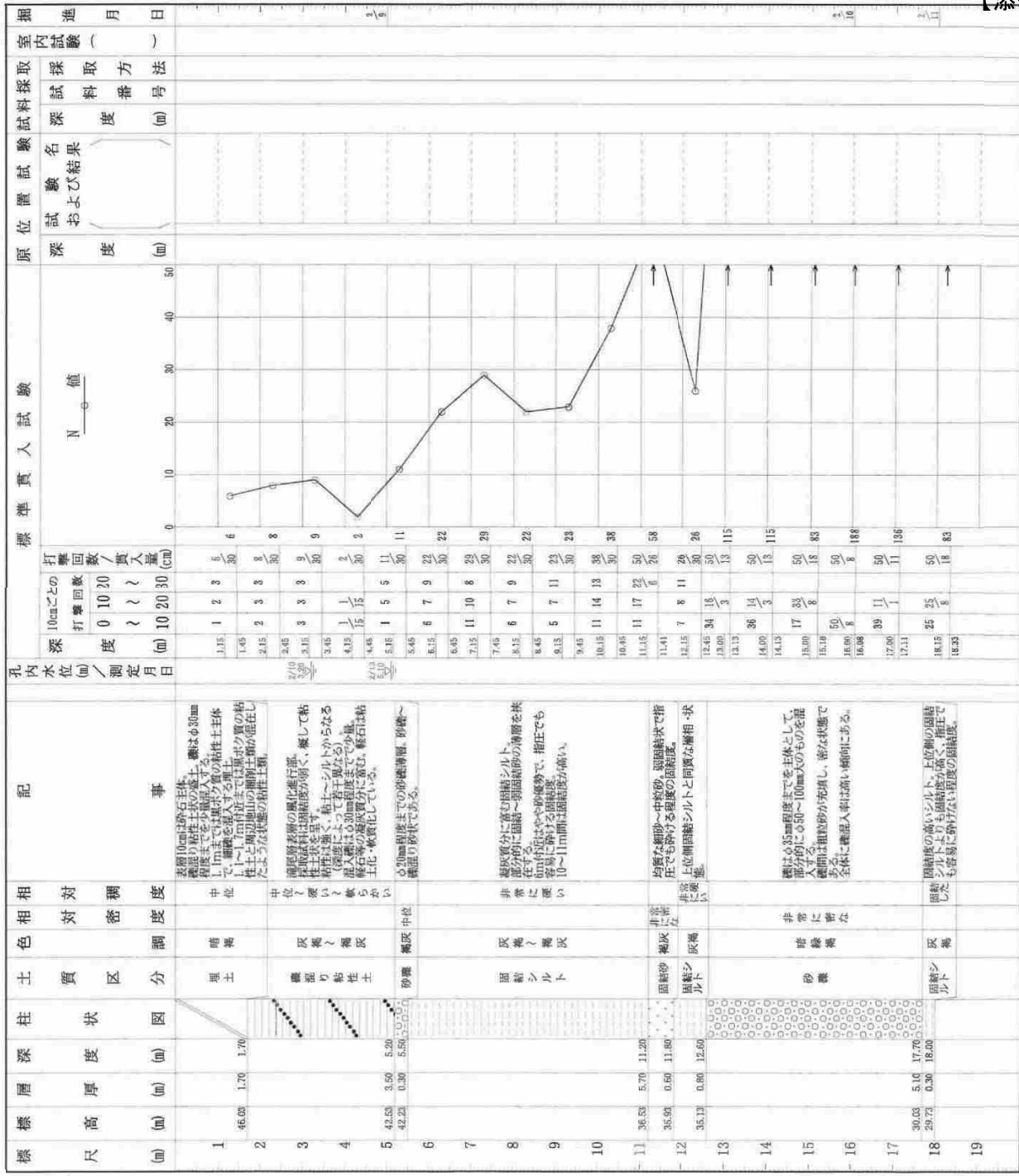
# ボーリング柱状図

調査名 平成23年度住委第2301-23号明野住宅MRR-4地質調査委託

ボーリングNo

## 事業・工事名

ボーリング名	Bor.No.1		調査位置	大分市明野西1丁目		北緯
発注機関	大分県土木建築部施設整備課					東経
調査業者名	主任技師					調査期間
ボーリング深	47.73m	方角	北0° 西270° 東90° 南180°	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	平成24年1月25日～24年3月23日
ボーリング径	18.00m	度		使用機種	コシダ	現場代理人
ボーリング長さ				試験機	東邦地下工機 D0-D型	アサヒ
ボーリング径				エンジン	ヤンマー NFD9K	ハンマー落下用具
ボーリング径				ポンプ	東邦地下工機 BG-3C	半自動落下





# ボーリング柱状図

調査名 平成23年度住委第2301-23号明野住宅MRR-4地質調査委託

ボーリングNo

## 事業・工事名

ボーリング名	Bof. No. 2		調査位置	大分市明野西1丁目		北緯
発注機関	大分県土木建築部施設整備課		調査期間	平成24年1月25日～24年3月23日		東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	アコ鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	47.80m	角	北0°	東90°	西180°	南90°
総掘進長	16.00m	方位	北0°		東90°	
		度	180°		90°	
			使用機種	ハンマー落下用		エンジン
			試験機	D0-D型		ヤンマー NFD9K
			ボンプ	東邦地下工機		東邦地下工機 BG-3C

標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対稠度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験	原位置試験	位置試験	試験名	試験結果	試験番号	採取方法	室内試験	進捗月日
45.00	1.80		埋土	灰緑褐色	硬	硬質シルト質砂状を呈す埋土。部分的にシルト質が少なく、砂質シルト質土層は300mm程度までが主体であり、稀に100mm大を混入する。	2/14	深 1.1E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 1 2 3 6	1.1E	2-1	◎	含水率 液状度	1/15			
44.60	1.30		硬泥り粘性土	灰褐色	中位	高層部表面の風化層行部。粘性土層は粘り粘性が強く、概して粘性土層を呈する。主体であり、部分的には砂質土層を混入する。粘性は強い。	2/18	深 2.4E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 1 1 3 3	2.4E	2-2	◎	含水率 液状度	2/15			
44.10	0.90		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 3.4E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 2 5 7 14	3.4E	2-3	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	4.20		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 4.8E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 6 11 20 37	4.8E	2-4	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 5.1E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 3 2 3 8	5.1E	2-5	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 5.6E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 21 18 10 49	5.6E	2-6	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 6.4E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 13 14 14 41	6.4E	2-7	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 7.4E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 6 44 50 76	7.4E	2-8	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 8.2E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 18 18 16 50	8.2E	2-9	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 9.1E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 4 6 8 18	9.1E	2-10	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 10.1E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 19 31 6 18 83	10.1E	2-11	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 11.1E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 13 14 33 50 59	11.1E	2-12	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 12.1E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 16 34 8 18 83	12.1E	2-13	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 13.1E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 16 34 8 18 83	13.1E	2-14	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 14.1E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 16 34 8 18 83	14.1E	2-15	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 15.1E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 16 34 8 18 83	15.1E	2-16	◎	含水率 液状度	2/15			
38.00	1.50		砂礫	灰褐色中位	中位	硬質層分に含む固結シルト。部分的に固結したシルト質土層を呈し、粗粒の混入は、概して中位。粗粒の相対稠度は中位である。		深 16.1E 10cmごとの打撃回数 / 貫入量 0 10 20 30 16 34 8 18 83	16.1E	2-17	◎	含水率 液状度	2/15			

# ボーリング柱状図

調査名 平成23年度住委第2301-23号明野住宅MRR-4地質調査委託

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名		B O T . N o . 3		調査位置		大分市明野西1丁目		北緯	
発注機関		大分県土木建築部施設整備課		調査期間		平成24年1月25日～24年3月23日		東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		アコ鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高		47.71m		使用機種		ハンマ落下用真		半自動落下	
総掘進長		19.00m		エンジン		ヤンマー NFD9K		ボンプ東邦地下工機 BG-3C	
角		180° 上 下		方位		北 0° 東 90° 西 270° 南		地盤勾配	
度		90°		向		180° 南		傾度	
傾度		90°		傾度		90°		傾度	

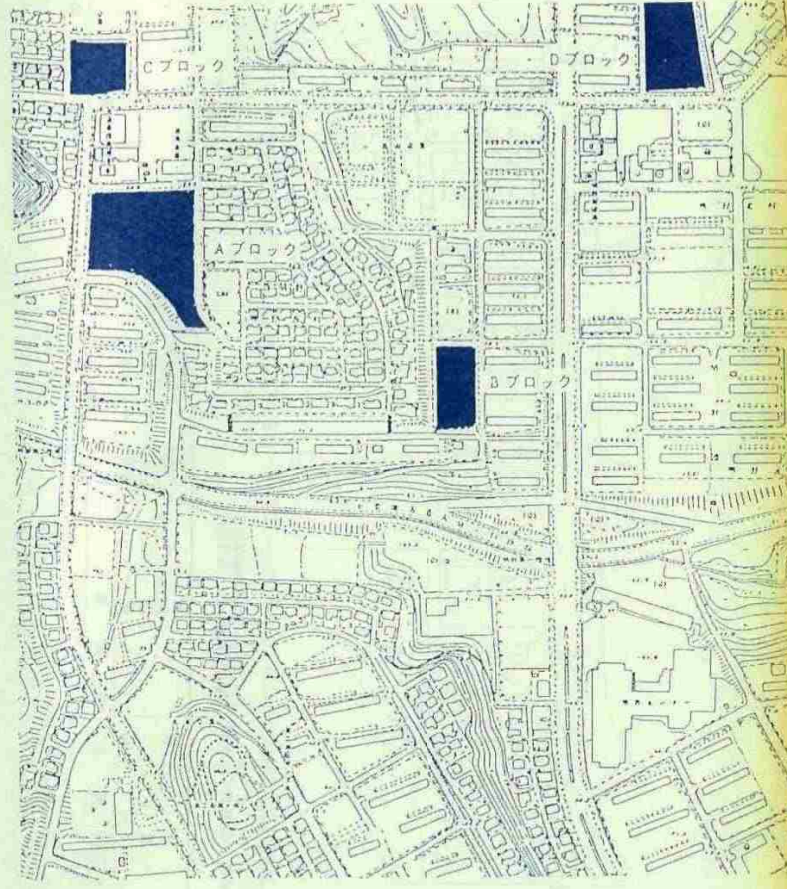
標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対稠度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験深度 (m)	試験名および結果	試験採取方法	室内試験
								打撃回数	10cmごとの打撃回数	貫入量 (cm)	N 値				
47.31	0.40	0.4H	埋土	成層	成層	確認り粘性土状を呈す埋土。		1.5	1	4	30	4			
46.91	1.10	1.5H	粘性土	成層	成層	確認り粘性土状を呈す埋土。上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		1.8	10	31	31				
45.81	3.00	4.5H	粘土混り砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		2.0	3	47	50				
42.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		3.8	7	17	88				
39.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		4.5	8	10	33				
36.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		6.5	6	8	22				
33.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		6.5	6	7	10	23			
30.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		6.8	8	24	8	50			
27.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		7.5	8	28	54				
24.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		7.0	7	4	17	30			
21.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		8.5	6	18	24	50			
18.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		9.3	8	28	54				
15.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		10.5	13	10	17	40			
12.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		10.5	21	29	30	40			
9.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		11.5	3	13	115				
6.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		12.5	8	15	15	38			
3.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		12.5	8	15	15	38			
0.81	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		13.5	7	17	25	50			
-2.19	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		14.0	5	21	4	50			
-5.19	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		15.0	18	20	12	50			
-8.19	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		16.0	5	25	60				
-11.19	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		16.0	21	29	30	40			
-14.19	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		17.0	4	14	107				
-17.19	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		17.29	39	11	50				
-20.19	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		18.0	2	12	125				
-23.19	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		18.12	90	50	8	188			
-26.19	3.00	4.5H	砂礫	中硬	中硬	上部は粘土混り砂礫を呈す。下部は粘土混り砂礫を呈す。確認り粘性土状を呈す埋土を認め、上部は粘土質の凝灰質砂を呈す。下部は粘土質の凝灰質砂を呈す。		19.0	8	8	188				

【添付資料9 地質調査資料】



<h3 style="text-align: center;">基礎設計</h3> <p><b>基礎仕様</b></p> <p>コンクリート</p> <p>FC-40N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-25N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-30N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-40N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-50N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-60N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-70N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-80N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-90N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-100N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）</p> <p>鉄筋</p> <p>SD235（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD490（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD590（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD685（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD785（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD885（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD985（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）</p> <p><b>基礎</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">基礎仕様</th> <th colspan="2">引張強度<math>f_{ctd}</math> (MPa)</th> <th colspan="2">引張強度<math>f_{ctd}</math> (kg/cm<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>26</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>36</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>41</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>46</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>51</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>56</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>61</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>66</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>70</td> <td>75</td> <td>71</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>75</td> <td>80</td> <td>76</td> <td>81</td> </tr> </table> <p>【基礎仕様について】              工事仕様の詳細については、基礎仕様書（基礎仕様）を参照してください。              【コンクリートの強度等級について】              施工仕様書の基礎仕様書（基礎仕様）を参照してください。</p>	基礎仕様		引張強度 $f_{ctd}$ (MPa)		引張強度 $f_{ctd}$ (kg/cm <sup>2</sup> )		基礎	基礎仕様	25	30	26	31	基礎	基礎仕様	30	35	31	36	基礎	基礎仕様	35	40	36	41	基礎	基礎仕様	40	45	41	46	基礎	基礎仕様	45	50	46	51	基礎	基礎仕様	50	55	51	56	基礎	基礎仕様	55	60	56	61	基礎	基礎仕様	60	65	61	66	基礎	基礎仕様	65	70	66	71	基礎	基礎仕様	70	75	71	76	基礎	基礎仕様	75	80	76	81	<p style="text-align: center;">基礎設計</p> <p style="text-align: center;">1/50</p> <p style="text-align: right;">図名: 基礎設計</p> <p style="text-align: right;">縮尺: 1/50</p> <p style="text-align: right;">設計: 1/2004.10.10</p> <p style="text-align: right;">校閲: 1/2004.10.10</p> <p style="text-align: right;">発行: 1/2004.10.10</p> <p style="text-align: right;">図号: S-04</p>
基礎仕様		引張強度 $f_{ctd}$ (MPa)		引張強度 $f_{ctd}$ (kg/cm <sup>2</sup> )																																																																					
基礎	基礎仕様	25	30	26	31																																																																				
基礎	基礎仕様	30	35	31	36																																																																				
基礎	基礎仕様	35	40	36	41																																																																				
基礎	基礎仕様	40	45	41	46																																																																				
基礎	基礎仕様	45	50	46	51																																																																				
基礎	基礎仕様	50	55	51	56																																																																				
基礎	基礎仕様	55	60	56	61																																																																				
基礎	基礎仕様	60	65	61	66																																																																				
基礎	基礎仕様	65	70	66	71																																																																				
基礎	基礎仕様	70	75	71	76																																																																				
基礎	基礎仕様	75	80	76	81																																																																				

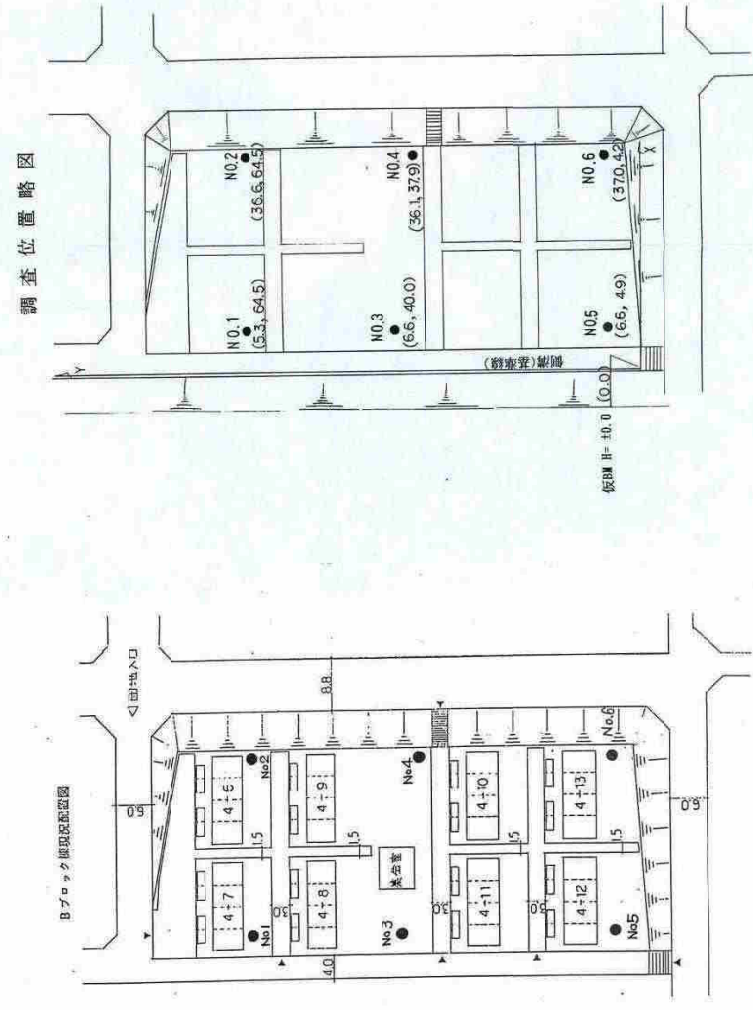
<h3 style="text-align: center;">基礎設計</h3> <p><b>基礎仕様</b></p> <p>コンクリート</p> <p>FC-40N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-25N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-30N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-40N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-50N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-60N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-70N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-80N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-90N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）  FC-100N（商品名）コンクリート（引張強度<math>f_{ctd}</math>）</p> <p>鉄筋</p> <p>SD235（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD490（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD590（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD685（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD785（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD885（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）  SD985（商品名）鉄筋（引張強度<math>f_{t}</math>）</p> <p><b>基礎</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">基礎仕様</th> <th colspan="2">引張強度<math>f_{ctd}</math> (MPa)</th> <th colspan="2">引張強度<math>f_{ctd}</math> (kg/cm<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>26</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>36</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>41</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>46</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>51</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>56</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>61</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>66</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>70</td> <td>75</td> <td>71</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>基礎仕様</td> <td>75</td> <td>80</td> <td>76</td> <td>81</td> </tr> </table> <p>【基礎仕様について】              工事仕様の詳細については、基礎仕様書（基礎仕様）を参照してください。              【コンクリートの強度等級について】              施工仕様書の基礎仕様書（基礎仕様）を参照してください。</p>	基礎仕様		引張強度 $f_{ctd}$ (MPa)		引張強度 $f_{ctd}$ (kg/cm <sup>2</sup> )		基礎	基礎仕様	25	30	26	31	基礎	基礎仕様	30	35	31	36	基礎	基礎仕様	35	40	36	41	基礎	基礎仕様	40	45	41	46	基礎	基礎仕様	45	50	46	51	基礎	基礎仕様	50	55	51	56	基礎	基礎仕様	55	60	56	61	基礎	基礎仕様	60	65	61	66	基礎	基礎仕様	65	70	66	71	基礎	基礎仕様	70	75	71	76	基礎	基礎仕様	75	80	76	81	<p style="text-align: center;">地質調査</p> <p style="text-align: center;">1/50</p> <p style="text-align: right;">図名: 地質調査</p> <p style="text-align: right;">縮尺: 1/50</p> <p style="text-align: right;">設計: 1/2004.10.10</p> <p style="text-align: right;">校閲: 1/2004.10.10</p> <p style="text-align: right;">発行: 1/2004.10.10</p> <p style="text-align: right;">図号: S-04</p>
基礎仕様		引張強度 $f_{ctd}$ (MPa)		引張強度 $f_{ctd}$ (kg/cm <sup>2</sup> )																																																																					
基礎	基礎仕様	25	30	26	31																																																																				
基礎	基礎仕様	30	35	31	36																																																																				
基礎	基礎仕様	35	40	36	41																																																																				
基礎	基礎仕様	40	45	41	46																																																																				
基礎	基礎仕様	45	50	46	51																																																																				
基礎	基礎仕様	50	55	51	56																																																																				
基礎	基礎仕様	55	60	56	61																																																																				
基礎	基礎仕様	60	65	61	66																																																																				
基礎	基礎仕様	65	70	66	71																																																																				
基礎	基礎仕様	70	75	71	76																																																																				
基礎	基礎仕様	75	80	76	81																																																																				



附近見取図

調査位置平面図 (Bブロック)

C-1区画北側





### ボーリング柱状図

調査名 平成5年度県営明野住宅BCブロック新築及び明野住宅改修（増築）工事地質調査委託  
事業・工事名

ボーリング名	No. 1	調査位置	北緯
発注機関	大分県土木建築部		調査期間 平成5年5月19日～5年5月20日 東経
調査業者名			
孔口標高	0.20m	角	180° 上 90° 下 0°
総掘進長	7.00m	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
試錐機	YBM-D5	ハンマー	落下用具
エンジン		ポンプ	

標高 尺	層厚 厚	柱状 状	土質 区	色相 対	相対 密	記 事	孔内水位 深	標準貫入試験		原位置試験 深	試験名 および結果	試料採取 深	採取 方法	掘進 月日
								N値	打撃回数					
-0.00	0.40	0.40	表土	黄灰			2.40	5	4	5	14			
-1.40	1.40	1.80	粘土	褐灰		粘性分多い 粘着力強い 1.0~1.0m間玉石有り(チャート)	1.15	5	4	5	14			
-2.80	1.40	1.80	粘土	褐灰		φ2~20mmの角・亜角・中継主体 全体に粘性土混入するが部分に多い 砂は細中砂主体	1.45	7	6	20	33			
-4.20	1.40	3.70	黄灰			砂は細中砂主体	2.45	7	4	3	14			
-5.60	1.40	4.10	黄灰			砂は細中砂主体	3.15	7	4	3	14			
-7.00	1.40	5.50	黄灰			砂は細中砂主体	3.85	9	13	50	13			
-8.40	1.40	6.90	黄灰			砂は細中砂主体	4.15	9	13	50	13			
-9.80	1.40	8.30	黄灰			砂は細中砂主体	4.85	9	13	50	13			
-11.20	1.40	9.70	黄灰			砂は細中砂主体	5.00	9	13	50	13			
-12.60	1.40	11.10	黄灰			砂は細中砂主体	5.08	9	13	50	13			
-14.00	1.40	12.50	黄灰			砂は細中砂主体	6.15	11	20	18	50	13		
-15.40	1.40	13.90	黄灰			砂は細中砂主体	6.38	11	20	18	50	13		
-16.80	1.40	15.30	黄灰			砂は細中砂主体	7.15	13	25	12	50	13		
-18.20	1.40	16.70	黄灰			砂は細中砂主体	7.91	13	25	12	50	13		

### ボーリング柱状図

調査名 平成5年度県営明野住宅BCブロック新築及び明野住宅改修（増築）工事地質調査委託  
事業・工事名

ボーリング名	No. 2	調査位置	北緯
発注機関	大分県土木建築部		調査期間 平成5年5月21日～5年5月24日 東経
調査業者名			
孔口標高	0.27m	角	180° 上 90° 下 0°
総掘進長	15.00m	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
試錐機	YBM-D5	ハンマー	落下用具
エンジン		ポンプ	

標高 尺	層厚 厚	柱状 状	土質 区	色相 対	相対 密	記 事	孔内水位 深	標準貫入試験		原位置試験 深	試験名 および結果	試料採取 深	採取 方法	掘進 月日
								N値	打撃回数					
-0.20	0.50	0.50	表土	茶褐		0.02mまでコンクリート	2.50	2	2	3	7			
-0.70	0.50	1.00	粘土	褐灰		粘性分多い 粘着力強い	1.15	2	2	3	7			
-1.20	0.50	1.50	粘土	褐灰		粘性分多い 粘着力強い	1.45	2	2	3	7			
-1.70	0.50	2.00	粘土	褐灰		粘性分多い 粘着力強い	2.15	2	2	3	7			
-2.20	0.50	2.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	2.45	4	6	7	13			
-2.70	0.50	3.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	3.15	4	6	7	13			
-3.20	0.50	3.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	3.45	4	6	7	13			
-3.70	0.50	4.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	4.15	6	6	7	13			
-4.20	0.50	4.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	4.85	12	15	23	50	13		
-4.70	0.50	5.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	5.15	12	15	23	50	13		
-5.20	0.50	5.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	5.85	12	15	23	50	13		
-5.70	0.50	6.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	6.00	12	15	23	50	13		
-6.20	0.50	6.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	6.70	12	15	23	50	13		
-6.70	0.50	7.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	7.00	12	15	23	50	13		
-7.20	0.50	7.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	7.70	12	15	23	50	13		
-8.70	0.50	9.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	8.40	11	14	17	42	50	13	
-9.20	0.50	9.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	8.45	11	14	17	42	50	13	
-9.70	0.50	10.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	9.00	11	14	17	42	50	13	
-10.20	0.50	10.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	9.04	11	14	17	42	50	13	
-10.70	0.50	11.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	9.84	14	14	15	43	50	13	
-11.20	0.50	11.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	10.45	12	10	15	40	50	13	
-11.70	0.50	12.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	11.45	12	10	15	40	50	13	
-12.20	0.50	12.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	12.15	13	18	18	44	50	13	
-12.70	0.50	13.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	12.45	14	24	5	50	13		
-13.20	0.50	13.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	13.15	14	24	5	50	13		
-13.70	0.50	14.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	13.28	14	24	5	50	13		
-14.20	0.50	14.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	14.15	26	24	5	50	13		
-14.70	0.50	15.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	14.30	26	24	5	50	13		
-15.20	0.50	15.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	15.15	33	17	3	50	13		
-15.70	0.50	16.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	15.28	33	17	3	50	13		
-16.20	0.50	16.50	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	16.12	34	16	4	50	13		
-16.70	0.50	17.00	黄灰			粘土全体に混入するが部分に多い 粒径φ2~50mmで角・亜角・円形 砂は細砂・粗砂	16.27	34	16	4	50	13		

### ボーリング柱状図

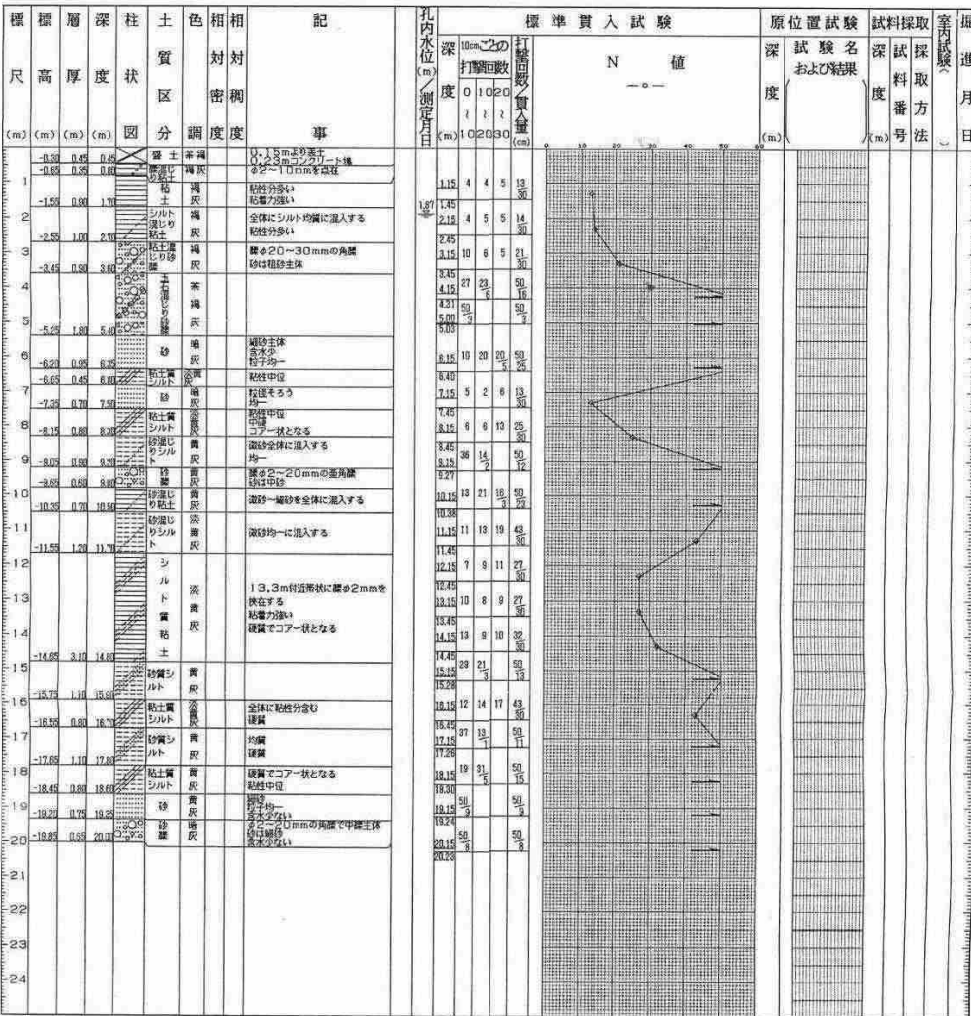
調査名 平成5年度県営明野住宅BCブロック新築及び明野住宅改修(増築)工事地質調査委託

ボーリング№

事業・工事名

シート№

ボーリング名	No. 3		調査位置	北 緯	
発注機関	大分県土木建築部		調査期間	平成 5年 5月25日～ 5年 5月27日 東 経	
調査業者名					
孔口標高	0.15m				
総掘進長	20.00m				
試錐機	YBM-05		落下用具	ポンプ	
エンジン					



### ボーリング柱状図

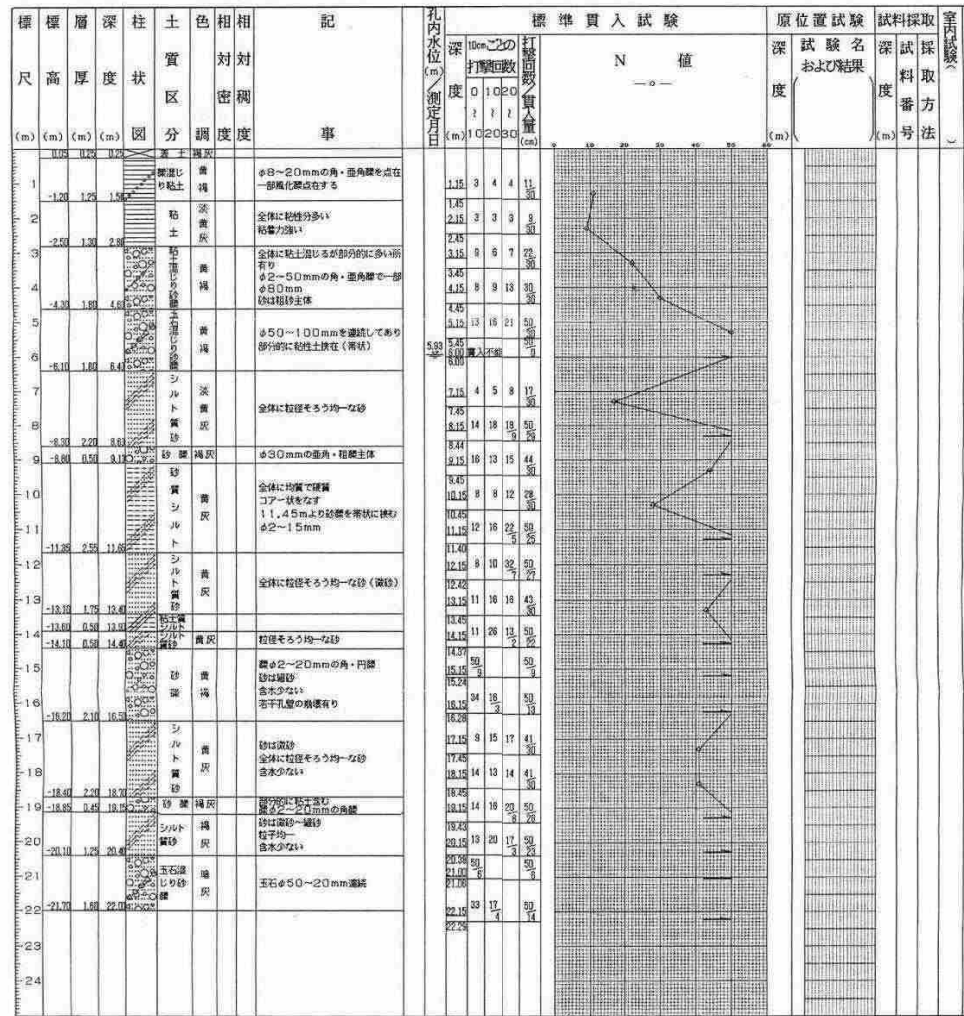
調査名 平成5年度県営明野住宅BCブロック新築及び明野住宅改修(増築)工事地質調査委託

ボーリング№

事業・工事名

シート№

ボーリング名	No. 4		調査位置	北 緯	
発注機関	大分県土木建築部		調査期間	平成 5年 5月26日～ 5年 5月31日 東 経	
調査業者名					
孔口標高	0.80m				
総掘進長	22.00m				
試錐機	YBM-05		落下用具	ポンプ	
エンジン					



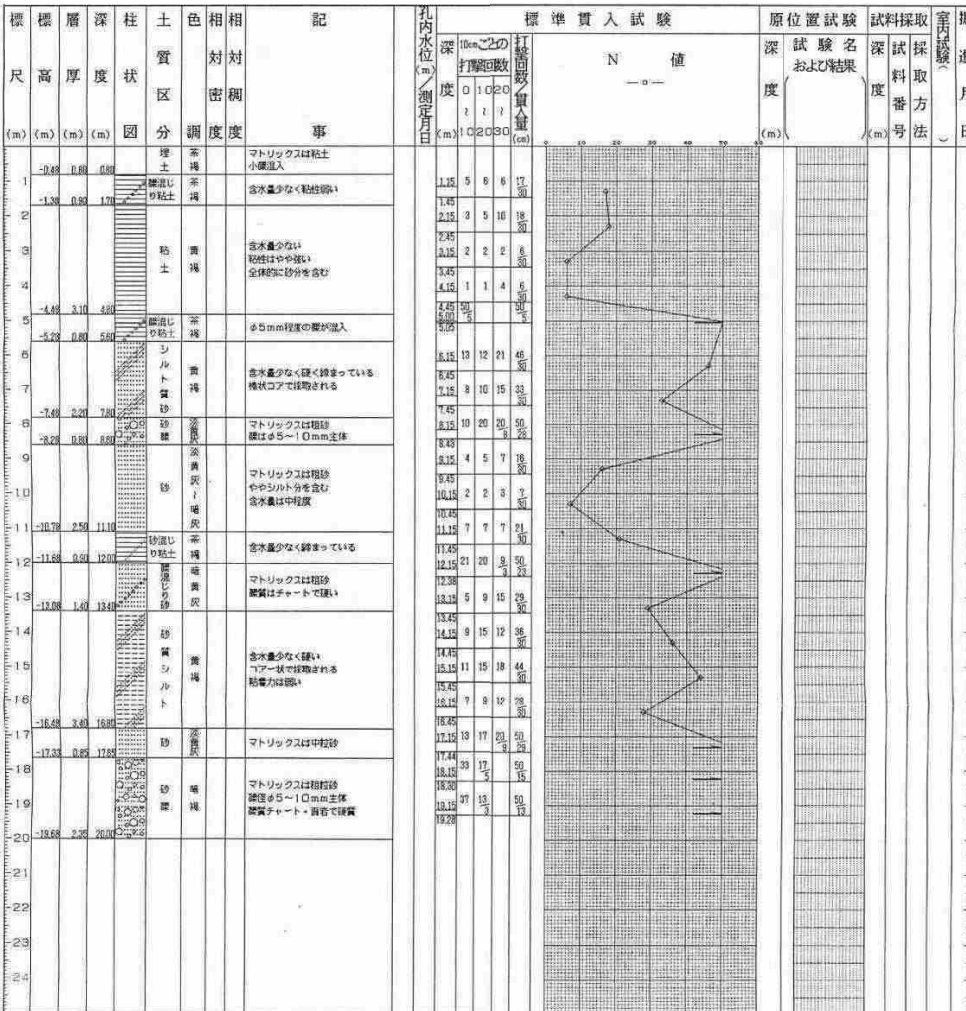


ボーリング柱状図

調査名 平成5年度県営明野住宅BCブロック新築及び明野住宅改修(増築)工事

事業・工事名

ボーリング名	No. 5		調査位置	Bブロック		シートNo.	北緯
発注機関	大分県土木建築部		調査期間	平成5年 月 日 ~ 年 月 日		東経	
調査業者名							
孔口標高	0.25m	角	180°	方	北0°	地盤	水平0°
総掘進長	20.00m	度	下0°	向	西180°	配	度
試験機	エンジン		落下用具	ポンプ			

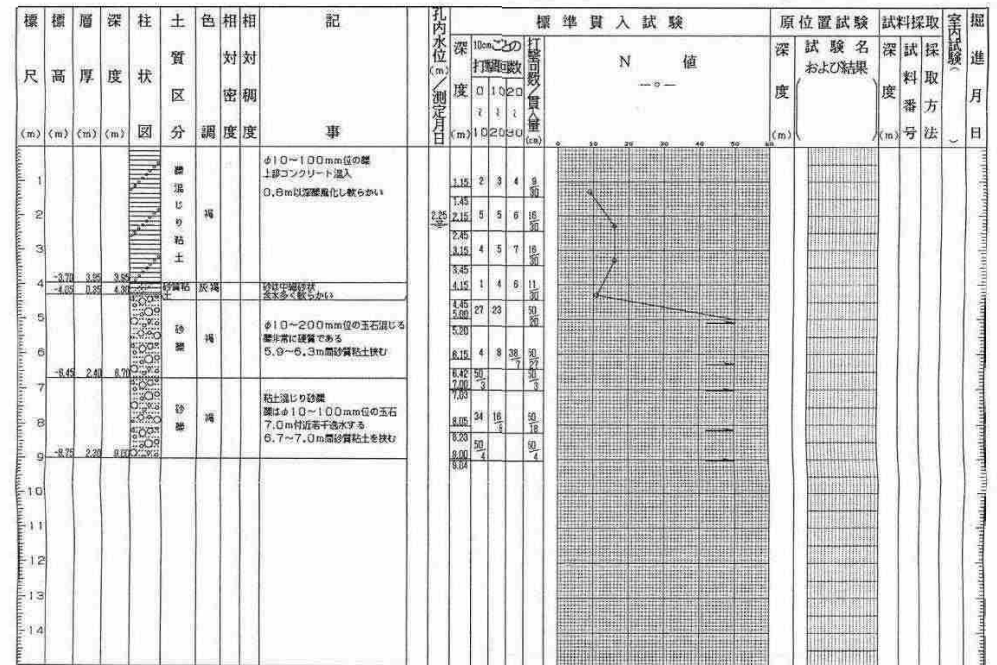


ボーリング柱状図

調査名 平成5年度県営明野住宅BCブロック新築及び明野住宅改修(増築)工事地質調査委託

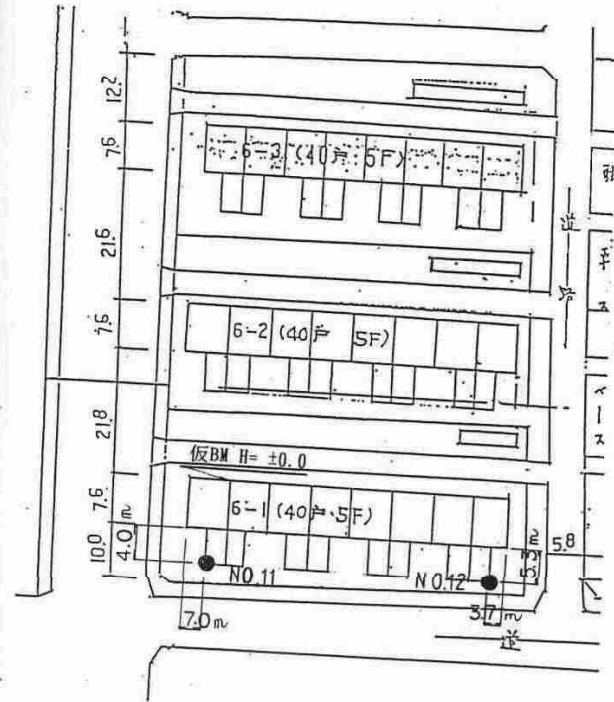
事業・工事名

ボーリング名	No. 6		調査位置	Bブロック		シートNo.	北緯
発注機関	大分県土木建築部		調査期間	平成5年 5月28日 ~ 5年 6月1日		東経	
調査業者名							
孔口標高	0.25m	角	180°	方	北0°	地盤	水平0°
総掘進長	9.00m	度	下0°	向	西180°	配	度
試験機	エンジン		落下用具	ハンマー			
				ポンプ			



### 調査位置平面図

D区画 6-1棟



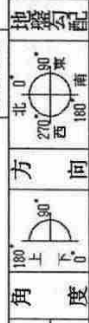
# ボーリング柱状図

調査名 平成5年度(兵庫県)明野町住宅B地区のボーリング新設及び  
明野町住宅B地区(増築)工事の地質調査委託

## 事業・工事名

ボーリング名	No. 11	調査位置	北緯
発注機関	大分県土木建設部		
調査業者名	主任技師		
ボーリングNo.	調査期間	平成5年5月17日~5年5月20日	東経
ボーリングNo.	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
ボーリングNo.	使用錐機	ハンマー	落下用具
ボーリングNo.	エンジン		ポンプ

シートNo.



調査業者名	コア鑑定者
ボーリングNo.	ハンマー
ボーリングNo.	落下用具
ボーリングNo.	ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相	対相対稠度	記	標準貫入試験		原位置試験 試験名 おおよぼ結果	試験採取 採取方法	進月日
								10cmの打撃回数	貫入値 (cm)			
1			埋土	砂質粘土	暗茶灰		埋土 砂の2~70mm20~30%混入 膠質は安山岩を母岩とする玉石主体 下層部含水やや多く柔らかい	1.15	4.30			
2	1.85	1.85	シルト質粘土	シルト質粘土	黒褐色		粘土に富み柔らかい 膠質物片混入	1.45	2.32			
3	0.75	2.70	シルト質粘土	シルト質粘土	暗茶灰		膠質物片混入 下層部小黒点在 やや凝灰質	2.15	1.30			
4	1.00	3.70	シルト質粘土	シルト質粘土				3.45	1.30			
5			砂質粘土	砂質粘土	暗茶褐色		砂の2~40mm少量混入し所々点 花となる 膠質は安山岩を母岩とする風化面 砂を主体 所々やや粘着有り	4.15	1.30			
6								4.45	2.00			
7								5.15	1.30			
8	4.20	7.90	シルト質粘土	シルト質粘土	暗茶		粘土質に多少粘着に富み 流動する気泡状砂を伴う	5.45	1.30			
9	0.55	8.45	シルト質粘土	シルト質粘土	暗茶		砂の2~70mm30~40mm位 混入	6.15	1.30			
10	1.85	9.30	シルト質粘土	シルト質粘土	暗茶		粘土を混じえる 下層部砂の2~1.5mm少量混入	7.45	1.30			
11	0.75	10.05	シルト質粘土	シルト質粘土	暗茶		砂の2~50mm30%位混入 粘土分混じえる	8.07	1.30			
12	0.80	11.35	シルト質粘土	シルト質粘土	淡褐色		やや固結シルト状をなす 部分的に砂の2~20mm少量混入 及び砂分及び混じえる	10.15	1.30			
13								10.45	1.30			
14	2.55	13.90	シルト質粘土	シルト質粘土	暗茶		砂の2~90mm30~40%混入 膠質は安山岩を母岩とする玉石主体 粘土を混じえる	11.13	1.30			
15	1.10	15.00	シルト質粘土	シルト質粘土	暗茶		砂の2~120mm40~50%位 混入 砂の10~40mm主体 膠質は頁岩のホルンフェルスを母 岩とする玉石主体で硬い 粘土を混じえる	12.15	1.30			
16								12.45	1.30			
17	2.00	17.00	シルト質粘土	シルト質粘土	暗茶			13.15	1.30			
18								13.45	1.30			
19								14.00	1.30			

【添付資料9】地質調査資料



### ボーリング柱状図

平成5年度県営明野住宅B.C.Pロック新築及  
び明野住宅改修(増築)工事土質調査委託

ボーリングNo.										
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 事業・工事名

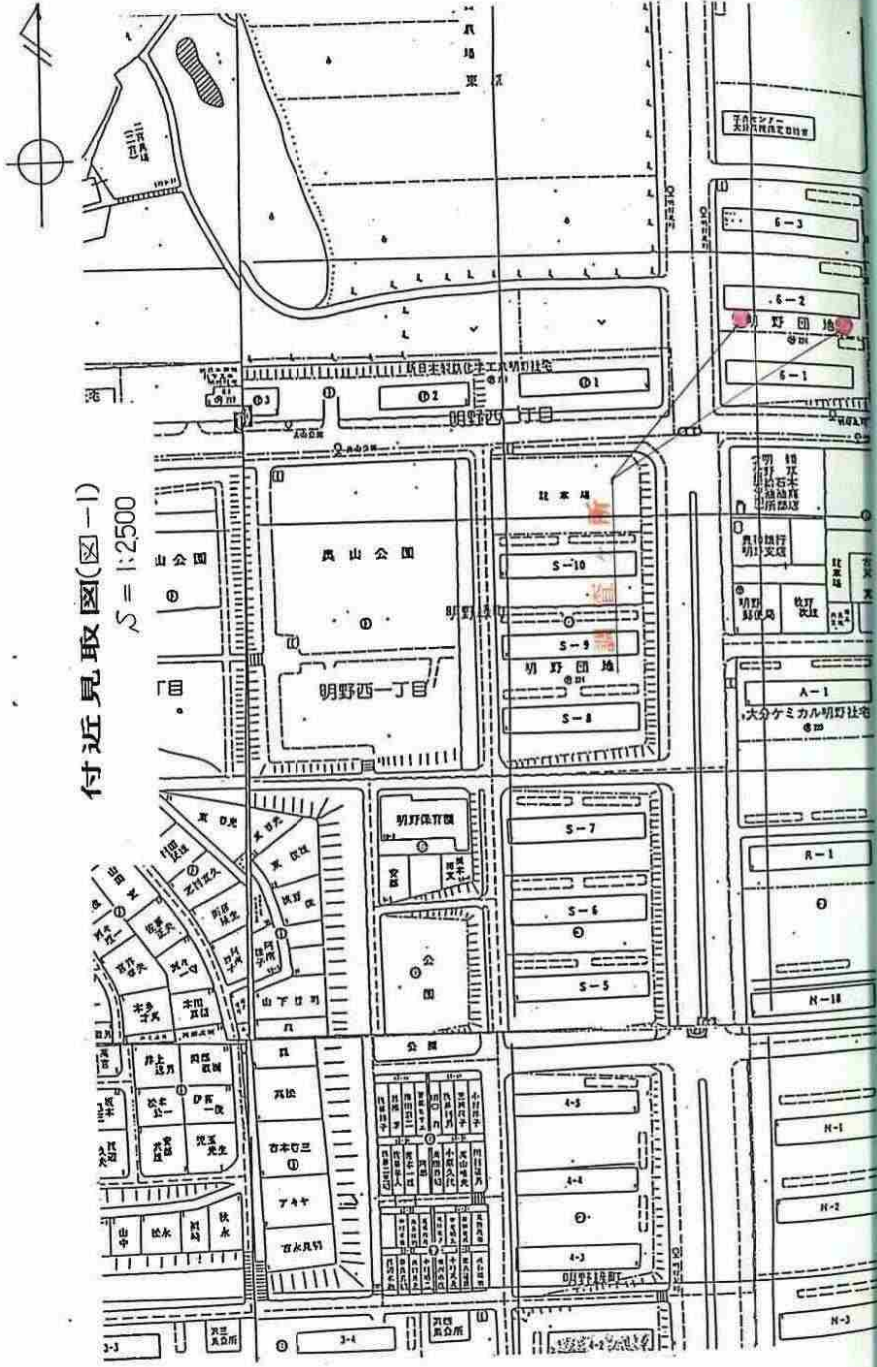
ボーリング名 No. 1 2      調査位置

発注機関 大分県土木建築部      調査期間 平成 5 年 5 月 22 日 ~ 5 年 5 月 26 日      シートNo. 北 緯

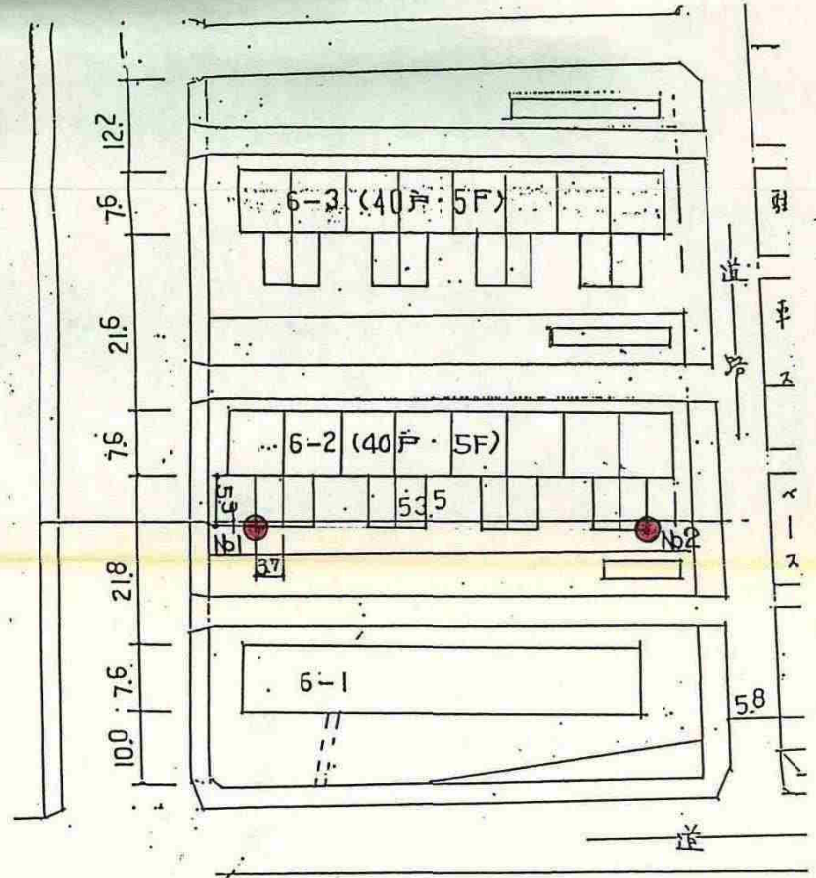
調査者名      主任技師      現場代理人      コシ 鑑定者      ボーリング責任者

孔口標高 -0.78m      方 向      地盤勾配      ハンマー  
 総掘進長 17.00m      角 度      方位      落下用具  
 ボンプ

標準層	厚	高	尺	柱状図	土質区分	色 相	対 密 度	記 事	孔内水位	測 定 日	標準貫入試験 N 値	原位置試験 深度	試験名	試験結果	試験採取 採取方法	試験番号	進 月 日
(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	および結果	(m)	(m)		
1	0.80	-1.58	0.80	砂質粘土	黄褐色			粘土等混入 礫φ2~70mm少量混入	3.97	5/22	1.15	1.15					5/22
2	0.75	-2.33	0.75	シルト質粘土	黒褐色			粘土等混入 礫φ2~70mm少量混入	3.97	5/22	1.45	1.45					5/22
3	1.80	-4.13	1.80	シルト質粘土	暗茶灰			埋土 礫φ2~50mm少量混入 木片等混入 未らかい	3.97	5/22	2.15	2.15					5/22
4	1.25	-5.38	1.25	シルト質粘土	黒褐色			非常に柔らかく、膨潤状態をなす 腐植物混入 含ま多い	3.97	5/22	2.35	2.35					5/22
5	1.10	-6.48	1.10	粘土	灰褐色			非常に粘性強い 腐植物混入	3.97	5/22	3.77	3.77					5/22
6	1.00	-7.48	1.00	膨潤性粘土	暗黄茶褐色			礫φ2~50mm 20~30%混入 上部が火山岩を主体とし下部は礫 岩・頁岩を主体とするもので硬い 粘土	3.97	5/22	4.48	4.48					5/22
7	1.30	-8.78	1.30	膨潤性粘土	暗黄茶褐色			礫φ2~80mm 30~40%位混入 30~50mm 主体 上部が火山岩を主体とし下部は礫 岩・頁岩を主体とするもので硬い 下部部はやや砂混入をなす	3.97	5/22	5.45	5.45					5/22
8	3.40	-12.18	3.40	砂	灰褐色			礫φ2~80mm 30~40%位混入 30~50mm 主体 上部が火山岩を主体とし下部は礫 岩・頁岩を主体とするもので硬い 下部部はやや砂混入をなす	3.97	5/22	8.15	8.15					5/22
9	1.00	-13.18	1.00	シルト質粘土	黄褐色			粘土等混入 礫φ2~70mm少量混入	3.97	5/22	10.00	10.00					5/22
10	2.20	-14.38	2.20	シルト質粘土	灰褐色			粘土等混入 礫φ2~70mm少量混入	3.97	5/22	11.15	11.15					5/22
11	1.40	-15.78	1.40	砂	茶褐色			粘土等混入 礫φ2~70mm少量混入	3.97	5/22	12.15	12.15					5/22
12	2.20	-17.98	2.20	シルト質粘土	灰褐色			粘土等混入 礫φ2~70mm少量混入	3.97	5/22	13.15	13.15					5/22
13	3.40	-21.38	3.40	砂	茶褐色			粘土等混入 礫φ2~70mm少量混入	3.97	5/22	14.14	14.14					5/22
14	1.50	-22.88	1.50	砂	黄褐色			粘土等混入 礫φ2~70mm少量混入	3.97	5/22	15.00	15.00					5/22
15	1.50	-24.38	1.50	砂	黄褐色			粘土等混入 礫φ2~70mm少量混入	3.97	5/22	16.00	16.00					5/22
16	1.50	-25.88	1.50	砂	黄褐色			粘土等混入 礫φ2~70mm少量混入	3.97	5/22	16.00	16.00					5/22
17	3.40	-29.28	3.40	砂	黄褐色			粘土等混入 礫φ2~70mm少量混入	3.97	5/22	17.07	17.07					5/22



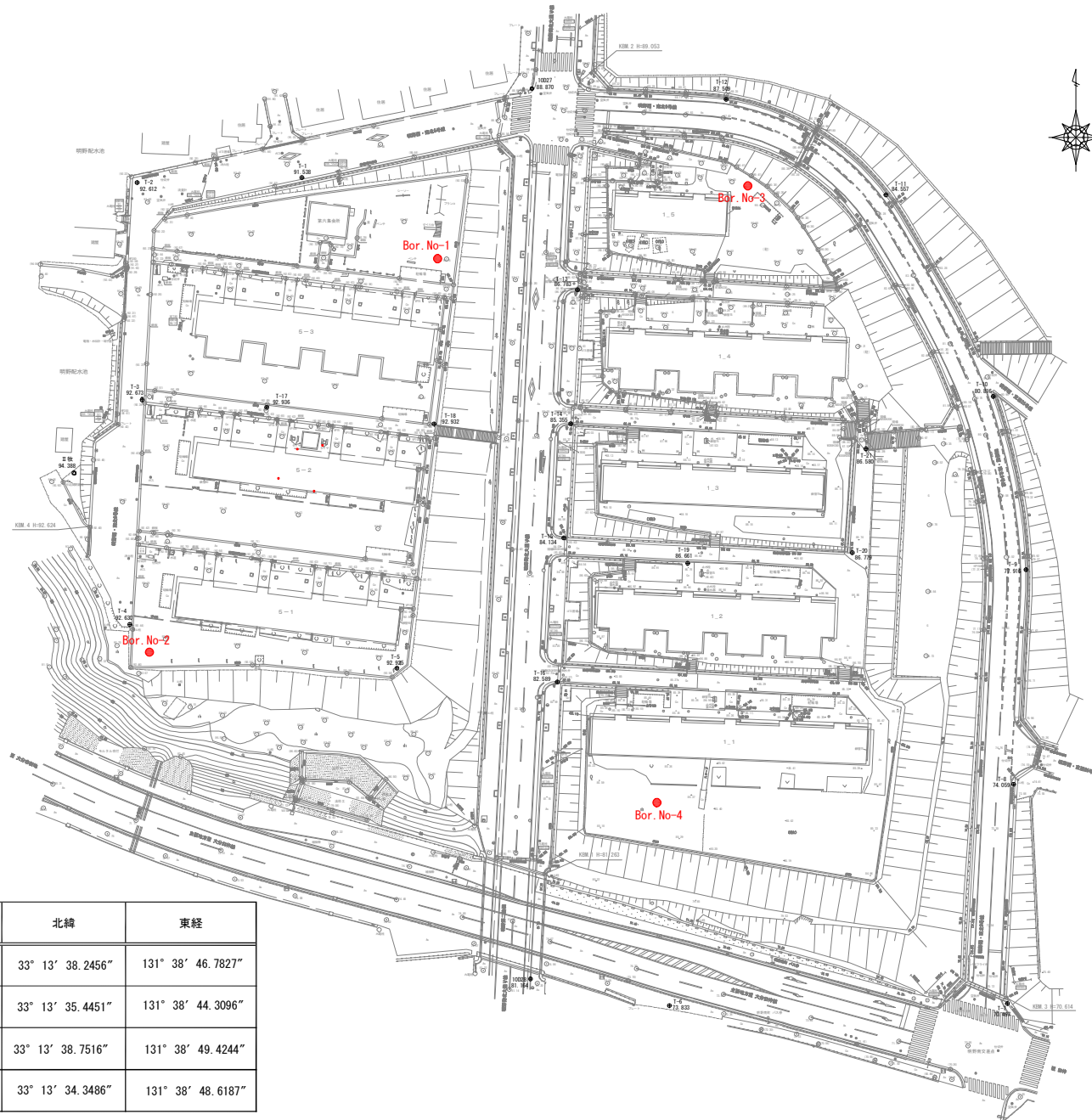
ボーリング位置図(図-2)  
S=1:500





土質柱状図(第4図)										ボーリング番号地 1									
工事名称 平成4年度県営明野住宅改善工事地質調査委託										備考									
工事場所 大分市大字東明野					工事主体 大分県土木建築部住宅課														
調査年月日 平成4年 5月21日~22日					地盤標高 並基準点 -0.09m														
施工者					現場技術者														
標尺 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	地下 水位 (m)	柱 状 図	土質名称	色 調	相対 密度	備 考	番 号	標準貫入試験									
										10cm毎の 打撃回数				打撃回数(N-値)					
0	-0.09	0.00								10	20	30	合計	10	20	30	40	50	60
1	0.10	0.10			砂 状 泥 炭 質 粘 土	黄 色	中位	22.5											
2	0.20	0.10			粘 土	黄 色	中位	大分市群像部に分 布するローム質の粘土。 含水中位		5	4	2	11						
3	0.30	0.10			粘 土	黄 色	中位	所外細砂~細砂 混入		2	1	1	4						
4	0.40	0.10			粘 土	黄 色	中位			1	2	2	5						
5	0.50	0.10			粘 土	黄 色	中位			5	7	7	19						
6	0.60	0.10			粘 土	黄 色	中位			3	2	3	8						
7	0.70	0.10			粘 土	黄 色	中位			1	1	1	3						
8	0.80	0.10			粘 土	黄 色	中位			3	1	2	6						
9	0.90	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位	硬質礫~玉石中10~ 100%多し。 マトリックスは砂質粘 土と含水中位。		14	7	25	46						
10	1.00	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			8	5	8	21						
11	1.10	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			10	5	10	25						
12	1.20	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			10	5	10	25						
13	1.30	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			10	5	10	25						
14	1.40	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			10	5	10	25						
15	1.50	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			10	5	10	25						
16	1.60	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			10	5	10	25						
17	1.70	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			10	5	10	25						
18	1.80	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			10	5	10	25						
19	1.90	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			10	5	10	25						
20	2.00	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			10	5	10	25						

土質柱状図(第5図)										ボーリング番号地 2									
工事名称 平成4年度県営明野住宅改善工事地質調査委託										備考									
工事場所 大分市大字東明野					工事主体 大分県土木建築部住宅課														
調査年月日 平成4年 5月23日~24日					地盤標高 並基準点 -0.12m														
施工者					現場技術者														
標尺 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	地下 水位 (m)	柱 状 図	土質名称	色 調	相対 密度	備 考	番 号	標準貫入試験									
										10cm毎の 打撃回数				打撃回数(N-値)					
0	-0.12	0.00								10	20	30	合計	10	20	30	40	50	60
1	0.10	0.10			粘 土	黄 色	中位	ローム質と含水多し粘 性強い。											
2	0.20	0.10			粘 土	黄 色	中位	2~4mは特に柔らかい。		2	1	1	4						
3	0.30	0.10			粘 土	黄 色	中位			30									
4	0.40	0.10			粘 土	黄 色	中位	5m以下は火山灰多し		1									
5	0.50	0.10			粘 土	黄 色	中位			15	15								
6	0.60	0.10			粘 土	黄 色	中位			1	2	2	5						
7	0.70	0.10			粘 土	黄 色	中位			5	7	8	20						
8	0.80	0.10			粘 土	黄 色	中位			13	7	6	26						
9	0.90	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位	硬質礫~玉石中10~ 100%主体、 マトリックスは砂質粘 土と粘性強い。		50			50						
10	1.00	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			39	11		50						
11	1.10	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			100	貫入不能		50						
12	1.20	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			3	3	5	11						
13	1.30	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			8	42		50						
14	1.40	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			14	36		50						
15	1.50	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			50			50						
16	1.60	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位			貫入不能			50						
17	1.70	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位												
18	1.80	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位												
19	1.90	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位												
20	2.00	0.10			粘 土 泥 玉 石 砂 礫	黄 色	中位												



孔番	X座標 (m)	Y座標 (m)	坑口標高 (m)	北緯	東経
Bor. No-1	25391.651	60240.621	93.14	33° 13' 38.2456"	131° 38' 46.7827"
Bor. No-2	25304.984	60177.126	92.84	33° 13' 35.4451"	131° 38' 44.3096"
Bor. No-3	25407.661	60308.920	90.49	33° 13' 38.7516"	131° 38' 49.4244"
Bor. No-4	25271.895	60288.900	85.32	33° 13' 34.3486"	131° 38' 48.6187"





# ボーリング柱状図

調査名 令和4年度 建住大委 第67-23号 明野住宅地質調査委託

事業・工事名

ボーリング名	Bor. No. 2		調査位置	明野住宅 大分県大分市木事務所		北緯	33° 13' 35.4451"	
発注機関	大分県大分市土木事務所		調査期間	令和4年12月13日 ~ 4年12月27日		東経	131° 38' 44.3096"	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	92.84m	角	180°上 90°下	270°西 0°東	使用機種	ハンマー落下用具		
総掘進長	32.00m	度	180°南		エンジン	E-1000		
					ボンプ	OS60		

ボーリングNo

シートNo

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験		原位置試験結果	室内試験		掘進月日
									10mごとの 打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値		採取方法	試験番号	
1	0.40	92.44	表土 黒褐	シルト質粘土	暗褐	軟らかい	軟らかい	細砂を含む細砂	2 / 1.15	5				12/14
2	2.40	90.04	シルト質粘土	暗褐	緩い	緩い	4-1mm黒色シルトを挟む細砂混じりシルト質粘土		2 / 1.45	3				12/14
3	2.40	87.64	シルト質砂	明褐	緩い	緩い	6.2-10mmの重円礫を含むシルト質砂		1 / 2.15	4				12/14
4	2.20	85.44	シルト質砂	明褐	緩い	緩い	6.2-10mmの重円礫を含むシルト質砂		2 / 2.30	5				12/14
5	2.45	83.19	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		3 / 3.15	6				12/14
6	2.45	80.74	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		4 / 4.15	7				12/14
7	2.45	78.29	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		5 / 4.15	8				12/14
8	2.45	75.84	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		6 / 4.15	9				12/14
9	2.45	73.39	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		7 / 4.15	10				12/14
10	2.45	70.94	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		8 / 4.15	11				12/14
11	2.45	68.49	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		9 / 4.15	12				12/14
12	2.45	66.04	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		10 / 4.15	13				12/14
13	2.45	63.59	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		11 / 4.15	14				12/14
14	2.45	61.14	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		12 / 4.15	15				12/14
15	2.45	58.69	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		13 / 4.15	16				12/14
16	2.45	56.24	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		14 / 4.15	17				12/14
17	2.45	53.79	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		15 / 4.15	18				12/14
18	2.45	51.34	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		16 / 4.15	19				12/14
19	2.45	48.89	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		17 / 4.15	20				12/14
20	2.45	46.44	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		18 / 4.15	21				12/14
21	2.45	43.99	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		19 / 4.15	22				12/14
22	2.45	41.54	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		20 / 4.15	23				12/14
23	2.45	39.09	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		21 / 4.15	24				12/14
24	2.45	36.64	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		22 / 4.15	25				12/14
25	2.45	34.19	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		23 / 4.15	26				12/14
26	2.45	31.74	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		24 / 4.15	27				12/14
27	2.45	29.29	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		25 / 4.15	28				12/14
28	2.45	26.84	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		26 / 4.15	29				12/14
29	2.45	24.39	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		27 / 4.15	30				12/14
30	2.45	21.94	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		28 / 4.15	31				12/14
31	2.45	19.49	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		29 / 4.15	32				12/14
32	2.45	17.04	シルト質砂	黄褐	中くらい	中くらい	6.5-30mm円礫を含む細砂、砂質、安山岩、チャートの礫質砂を含む。基質は褐色のシルト、粘土		30 / 4.15	33				12/14

【添付資料9 地質調査資料】



# ボーリング柱状図

調査名 令和4年度 建住大委 第67-23号 明野住宅地質調査委託

事業・工事名

ボーリング名	Bor. No. 3		調査位置	明野住宅 大分市明野西1丁目		北緯	33° 13' 38.7516"	
発注機関	大分県大土木事務所		調査期間	令和4年12月12日 ~ 4年12月27日		東経	131° 38' 49.4244"	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	90.49m	方角	北0° 0° 東	試験機	東邦-D-0		ハンマー落下用具	
総掘進長	31.00m	角度	180°上 90° 180°下 0°	エンジン	NFD-12		ポンプ	
							MS-515	
							半自動	

シートNo

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対角度	記	標準貫入試験		原位置試験	位置試験名	試験採取方法		室内試験	掘進月日
									10cmごとの打撃回数	30cmごとの打撃回数 / 貫入量			深度 (m)	試験番号		
89.95	0.50	89.45	埋め戻り粘土	埋め戻り粘土	暗褐色	軟らかい	縦溝じりシルト質砂		1	3	1.65				12/12	
89.04	0.95	88.09	粘土質砂礫	粘土質砂礫	褐色	中ぐらい	深部30cmまでは礫の含有率は少ない 0.5-30mmの円礫を多く含む 礫種は砂岩、安山岩、チャートの硬質礫を含む 基質は褐色の砂質シルト	1	5	14	2.15				12/13	
85.04	4.00	81.04	砂礫	砂礫	褐色	非常に密な	φ1-10mm 最大で20mm程度の円礫を主体とする 礫種は砂岩、安山岩、チャートを主とする	1	12	31	3.05				12/14	
78.54	6.50	72.04	砂礫	砂礫	暗褐色			1	24	4.65				12/14		
76.88	1.65	75.23	砂質シルト	砂質シルト	暗褐色	中ぐらい		1	9	3.15				12/14		
74.44	2.40	72.04	シルト質砂礫	シルト質砂礫	暗褐色	密な		1	21	4.15				12/14		
73.19	1.30	71.89	シルト	シルト	暗褐色	中ぐらい		1	22	4.65				12/14		
71.96	1.20	70.76	縦溝じりシルト	縦溝じりシルト	暗褐色	密な		1	27	5.15				12/14		
71.15	0.80	70.35	砂質シルト	砂質シルト	暗褐色	非常に密な		1	28	5.65				12/14		
69.44	1.70	67.74	海吹質砂	海吹質砂	暗褐色	非常に密な		1	33	6.15				12/14		
68.44	1.00	67.44	砂質シルト	砂質シルト	暗褐色	非常に密な		1	34	6.65				12/14		
65.44	3.00	62.44	シルト流じり砂礫	シルト流じり砂礫	暗褐色	非常に密な		1	39	7.15				12/14		
64.66	0.80	63.86	砂質シルト	砂質シルト	暗褐色	非常に密な		1	40	7.65				12/14		
63.88	0.80	63.08	砂礫	砂礫	暗褐色	非常に密な		1	41	8.15				12/14		
59.44	4.40	55.04	固結シルト	固結シルト	暗褐色	固結した		1	42	8.65				12/14		
									2	17	1.88			12/15		
									3	17	1.88			12/15		
									4	17	1.88			12/15		
									5	17	1.88			12/15		
									6	17	1.88			12/15		
									7	17	1.88			12/15		
									8	17	1.88			12/15		
									9	17	1.88			12/15		
									10	17	1.88			12/15		
									11	17	1.88			12/15		
									12	17	1.88			12/15		
									13	17	1.88			12/15		
									14	17	1.88			12/15		
									15	17	1.88			12/15		
									16	17	1.88			12/15		
									17	17	1.88			12/15		
									18	17	1.88			12/15		
									19	17	1.88			12/15		
									20	17	1.88			12/15		
									21	17	1.88			12/15		
									22	17	1.88			12/15		
									23	17	1.88			12/15		
									24	17	1.88			12/15		
									25	17	1.88			12/15		
									26	17	1.88			12/15		
									27	17	1.88			12/15		
									28	17	1.88			12/15		
									29	17	1.88			12/15		
									30	17	1.88			12/15		
									31	17	1.88			12/15		

【添付資料9 地質調査資料】

ボーリング柱状図

調査名 令和4年度 建任大委 第67-23号 明野住宅地質調査委託

事業・工事名

ボーリングNo

シートNo

Header information table containing Boring No (ボ-リングNo), Survey Location (調査位置), Survey Period (調査期間), and other details.

Main data table for the borehole log, including columns for depth (層厚), soil type (土質区分), and test results (標準貫入試験).